

## 令和3年度第1回射水市バリアフリー推進協議会会議録

### 1 開催日時

令和3年8月11日（水）午前10時15分～午前11時30分

### 2 開催場所

射水市役所3階会議室302・303

### 3 出席者

小柳津会長、鷹西委員、中村委員、本江委員、村田委員、木本委員、福田委員、茶山委員、大野木委員、釣谷委員、門田委員、石黒委員、小松委員、長谷部委員（代理：石黒）、織田委員、小塚委員（代理：杉本）、小見委員、桜川委員、島崎委員

事務局 塩谷市民生活部次長、星野生活安全課長、保田生活安全課長補佐、北川主査、北川主事

### 4 欠席者

山崎委員、砂原委員

### 5 議題及び協議概要

#### (1) 組織運営事項について

副会長互選について

副会長 富山福祉短期大学国際観光学科教授 鷹西氏

#### (2) 越中大門駅周辺地区バリアフリー基本構想の策定について

(主な意見)

- 国は、利用者が年間2,000人以上の駅についてバリアフリー化を積極的に進めていく方針が示している。整備に当たっては、多額の費用がかかるため、国からの補助金等を活用していくことが必要である。ただ、年間利用者2,000人以上の駅は、全国にたくさんあるため、補助金の申請がすぐに採択されるわけではない。関係機関が連携しながら進めていくことが重要である。
- 越中大門駅の改札から点字ブロックが途切れている。また、多目的トイレに声の案内があればより使いやすくなる。
- 聴覚に障がいがある人は、電話では用事を済ませられない。高齢になると、自分で運転することもできなくなる。しかし、タクシーを呼

ぶこともできないため、その点を配慮いただきたい。

- 古い車両の場合、床が高いなど車いす利用者に対応できないため、車両の更新を考えていく必要がある。
- 公共交通接遇研修の実施について、新型コロナウイルス感染症の影響で研修や講習が中止になっている中で、運転手等を教育する機会は大変貴重である。
- 大門地区では、商店街が衰退し、また高齢化率が高くなっている。障がい者や高齢者、そして、子どもたちにとっては、医療機関や金融機関、学校等への移動手段の充実やバリアフリー化を進め、安心して利用できるようにしないと、まちの発展につながらないと思う。
- 以前、バリアフリー関連業務に携わっていたことがある。バリアフリー化で地域が活性化することはないが、人を呼び込むことはできるようになるものと思う。
- 医療系の有資格者もまち歩き点検に参加してもらうのが有効である。また、子どもたちへの教育を含め、地元を愛してもらえるような活動も重要であると思う。